

中2・3 デザイン思考体験 ワークショップの生徒感想

5月2日（水）、株式会社 CURIO SCHOOL のスタッフの方をお招きして「デザイン思考」体験ワークショップ、「想像力の甲子園 MONO - COTO INNOVATION」を中学2年・中学3年の各クラスで行いました。

5月8日付の記事「中学2年生・3年生で特別授業を実施しました」にて授業の概要をお伝えいたしましたが、本日は中学2年生の感想を掲載いたします。

私はアイデアをたくさん考えて物語を書くことが好きなのですが、今日体験したワークショップは物語を1人で考えるときと違い、複数の人とアイデアを出し合って1つの商品を作り上げるというものでした。何人かで案を出し合ったことで、1人で考えていたら絶対思い浮かばなかったような斬新なアイデアが出てきたり、あるアイデアを改善するために意見を言い合いコミュニケーションをとる機会がとて多くなったりと、盛り上がりつつ、よりよい結果を得ることができました。

また、アイデアを考えるということは具体的にどういうことなのかという、簡単そうだけれどなかなか答えが見つからないこの問いに対する答えも学ぶことができました。アイデアを考えるということは、ある「モノ」・「コト」のエッセンスを取り出し、それらを全く別の「モノ」・「コト」と組み合わせるといことであり、こうしてできたアイデアをまた他の人のアイデアと掛け合わせて新たな案をさらに生み出していくことができるのです。

ワークショップで学んだもう1つの大切なことは「アイデアは質より量」ということです。限られた時間の中で、どんなものでもいいからとにかく多くのアイデアを出すことで組み合わせられる数も増え、クオリティの高いものが出来上がるのだと考えました。しかしアイデアを1人でたくさん考えることは難しいです。だからこそ、多くの人とアイデアを出し合うことの大切さと楽しさを忘れずに、今日少し身についた力や学んだことを授業のディスカッションや、大人になって仕事に就いたときなどに活かしていきたいです。

(A.M.)

今日のワークショップのはじめに、20秒という限られた時間の中で、相手に伝わりやすいように、簡潔に書くことは難しいことだと思いました。また、席が後ろの人とその絵を見せ合いっこしたら、同じテーマでも人によって全く違う想像をして絵を描いていたことに驚きました。

そして私達が考えた文房具は、「学校生活をもっと楽しくする文房具」です。近未来的だったり、可愛かったりとそれぞれの個性がでていておもしろかったです。最終的に私達は「世界に1つだけのペンケース♡」というカスタマイズのできるペンケースを考えました。いろいろな意見を組み合わせるとき、自分が全く考えつかなかった意見もあり、そのおかげでとてもよいペンケースになったと思います。これからのグループワークのときにも、自分とは少し違う面白い意見も大切にしていきたいなと思いました。(M.K.)

